

ファッション/カルチャー/アート分野の VR コンテンツアワード 第2弾「NEWVIEW AWARDS 2019」を開催！

昨年は世界7ヶ国219作品がエントリー。さらなる超体験のデザイン求む



株式会社パルコ（本部：東京都渋谷区）、株式会社 Psychic VR Lab（東京都新宿区）、株式会社ロフトワーク（東京都渋谷区）による共同プロジェクト「NEWVIEW（ニュービュー）」は、ファッション/カルチャー/アート分野の VR コンテンツを募るグローバルアワード「NEWVIEW AWARDS 2019」を開催し、本日 2019 年 7 月 1 日 12 時から作品の募集を開始します。

本アワードは、すべてのクリエイターが 3 次元の空間表現（VR）を手にする近未来に先駆け、新たな表現やカルチャー/ライフスタイルを追求し、「超体験のデザイン」を牽引する次世代クリエイターを発掘することを目的としています。

テーマは昨年に引き続き「DESIGN YOUR ULTRA EXPERIENCE」（超体験をデザインせよ！）。審査員には、日本国内から、夢眠ねむ氏、倉本美津留氏、大月壮氏、豊田啓介氏、谷口暁彦氏、海外からはケイイチ・マツダ氏（英国）、ニック・デンボアー氏（カナダ）、ルー・ヤン氏（中国）らを迎え、さまざまなフィールドで活動する国内外のクリエイターによる作品を募集します。

また、東京・京都で開講中の総合芸術としての VR を学ぶ「NEWVIEW SCHOOL」（主催：株式会社 PsychicVRLab）、台北（台湾）、モンテレー（メキシコ）でのワークショップを開催し作品制作の支援を並行して実施します。

未だ表現の黎明期にある VR シーンにおいて、表現や体験を新たに拡張する作品が本アワードを通じて誕生することを期待しています。

渋谷 PARCO でファイナリスト作品の展示&授賞式を開催

2019 年 11 月下旬にグランドオープンを予定する「渋谷 PARCO」にて、ファイナリストに残った作品の展示と、受賞者を表彰する授賞式の開催を予定しております。本アワードから誕生する新たなクリエイションを、リアル場で発信します。

NEWVIEW AWARDS 2019 概要

■Web サイト

<https://newview.design/awards/2019/jp>

■募集対象

VR 空間を駆使した新たな表現・体験を生み出せるクリエイティブプラットフォーム「STYLY」を使って制作・公開された VR コンテンツ作品が対象です。制作プロセスにおいて STYLY 以外のツール（3DCG、ゲームエンジン、DAW etc.）を使用することは構いません。すでに発表済みの作品も応募可能です。

STYLY オフィシャルサイト：<https://styly.cc/>

■賞について

- ・ Gold Prize (1 作品) 賞金 20,000USD
 - ・ Silver Prize (3 作品) 賞金 5,000USD
 - ・ PARCO Prize (1 作品) PARCO とタイアップした 3D 作品を制作し、渋谷 PARCO に展示する権利
- ※他の Prize は決定次第公開予定。

■スケジュール

- ・ 募集期間：2019 年 7 月 1 日（月）12:00～ 2019 年 9 月 30 日（月）12:00（日本時間正午）
- ・ 一次審査結果発表（ファイナリスト 40 作品選出予定）：2019 年 10 月末予定
- ・ ファイナリスト作品展示・授賞式：2019 年 11 月下旬～12 月予定
(会場：渋谷 PARCO※11 月下旬グランドオープン)
- ・ 最終審査結果発表：2019 年 12 月上旬予定

■審査員(順不同)

夢眠ねむ (ゆめみねむ) / 夢眠書店 店主・キャラクタープロデューサー

たぬきゅんをはじめ様々なキャラクターデザイン・プロデュースを手掛ける。映像監督や脚本、コラム執筆、作詞など多岐にわたり活動中。

- ▶多摩美術大学 卒業
- ▶でんぱ組.inc 卒業



Keiichi Matsuda / デザイナー・映像作家

デザイナー兼映像作家。彼の作品はロンドンのヴィクトリア&アルバート博物館からニューヨーク近代美術館まで広く展示されている。インターネット上での評価も高く、『HYPER-REALITY』などのショートフィルムによってカルト的なフォロワーを獲得している。同作は Vimeo の「年間最優秀ドラマ賞」などの様々な賞を受賞しており、また彼が 2018 年に Leap Motion の VP Design に取り組んでいた頃に、Next Reality は彼を AR のインフルエンサーのトップに選んでいる。

彼はデザインを"技術と文化の未来を探求する道具"と捉え、ストーリー映画製作や、XR のコンセプトualなインタラクティブデザインにおいても、"仮想と物理の狭間に存在する、現実の新たな展望"を描こうとしている。



Nick DenBoer / 映像作家

カナダのトロントを拠点とする映像作家。独特な VFX コメディのブランドを展開し、ビデオリミックスとアニメーションの技術を融合してシュールで不条理な映像作品を生み出す。過去にはコナン・オブライエンの番組のポップカルチャーパートの制作とリミックスを行うライター兼クリエイターも勤めた。彼の斬新なショートフィルム『The Chickening』（スタンリー・キューブリックの『シャイニング』の鶏リミックス版）は TIFF とサンダンス映画祭のスクリーンで上映されており、独特のスタイルの映像表現で活動の幅を広げ、Old Spice やケンタッキーフライドチキンの広告、Deadmau5 や Flying Lotus のミュージックビデオとツアービジュアル、無数の TV 番組、映画、ウェブ、VR のプロジェクトの監督・制作も行なっている。



Lu Yang / アーティスト

上海に拠点を置くマルチメディアアーティスト。中国美術学院のニューメディアアート学部卒業。アニメ、ビデオゲーム、SF といったサブカルチャーに造詣が深い彼女が生み出す作品は、3D アニメ映画、ビデオゲーム、インスタレーション、ホログラム、ネオン、VR、ソフトウェアなど多岐にわたる。彼女の作品は人類のもろさを扱った独特なファンタジーの創造であり、ジェンダーレス社会を広める仏教から出発する彼女は自分自身の無性な像を表現するための手段として自らの姿を用いている。彼女の作品はパリのポンピドゥーセンター、北京の木木美術館、上海ビエンナーレ、アテネビエンナーレで展示されている。



倉本美津留 / 放送作家

「ダウンタウン DX」「M-1 グランプリ」「浦沢直樹の漫勉」「アー!!ット叫ぶアート Ah!!rt」NHK E テレの子ども番組「シャキーン！」など、数々のテレビ番組手がける。これまでの仕事に「ダウンタウンのごっつええ感じ」「伊東家の食卓」「たけしの万物創世記」「EX テレビ」他。著書に「ことば絵本 明日のカルタ」「倉本美津留の超国語辞典」「笑い論 24 時間をおもしろくする」。



大月 壮 / 映像作家 / 映像ディレクター

「アノ手コノ手な幅広い制作手法」と「斜め上のひらめき」を掛け合わせながら、POP さが通底した作品を制作。近年はピクセルアートを用いた映像演出を得意としている。MV、広告といった商業映像制作を中心に活動。近作に、サザンオールスターズ「戦う战士们へ愛を込めて」MV (第 22 回文化庁メディア芸術祭審査員推薦作品)、YUKI「やたらとシンクロニシティ」MV、UNIQLO「UT × STREET FIGHTER」AD。オリジナル作では「アホな走り集」(第 15 回文化庁メディア芸術祭審査員推薦作品)が有名。清水イアンと環境問題専門のクリエイティブチーム「NEWW」を主催。



豊田 啓介 / 建築家 (noiz)

1972年、千葉県出身。96年、東京大学工学部建築学科卒業。96-00年、安藤忠雄建築研究所を経て、02年コロンビア大学建築学部修士課程(AAD)修了。02-06年、SHoP Architects(ニューヨーク)を経て、2007年より東京と台北をベースに建築デザイン事務所noizを蔡佳萱と共同主催(2016年より酒井康介もパートナー)。コンピューテーショナルデザインを積極的に取り入れた設計・製作・研究・コンサルティング等の活動を、建築からプロダクト、都市、ファッションなど、多分野横断型で展開している。現在、台湾国立交通大学建築研究所助理教授、東京芸術大学アートメディアセンター非常勤講師、東京大学建築学科デジタルデザインスタジオ講師、慶應義塾大学SFC非常勤講師。



谷口 暁彦 / アーティスト

多摩美術大学情報デザイン学科メディア芸術コース講師。メディア・アート、ネット・アート、映像、彫刻など、さまざまな形態で作品を発表している。主な展覧会に「[インターネット アート これから]——ポスト・インターネットのリアリティ」(ICC、2012)、「SeMA Biennale Mediacity Seoul 2016」(ソウル市立美術館、2016)、個展に「滲み出る板」(GALLERY MIDORI。SO、東京、2015)、「超・いま・ここ」(CALM & PUNK GALLERY、東京、2017)など。



■スポンサー

ALIENWARE

A L I E N W A R E 

<http://ALIENWARE.jp>

最高の環境でオンラインゲームが楽しめることを目的に製品開発を行っている、デルのプレミアムゲーミングパソコンブランド。高性能な仕様とあらゆる場面で活躍する豊富なラインアップ、一度見たら忘れないそのユニークなデザインは、世界中のゲームユーザーから高い支持と信頼を得ています。

■パートナー



■メディアパートナー



■サポーター



■主催：NEWVIEW PROJECT

PARCO

STYLY

loftwork

NEWVIEW について

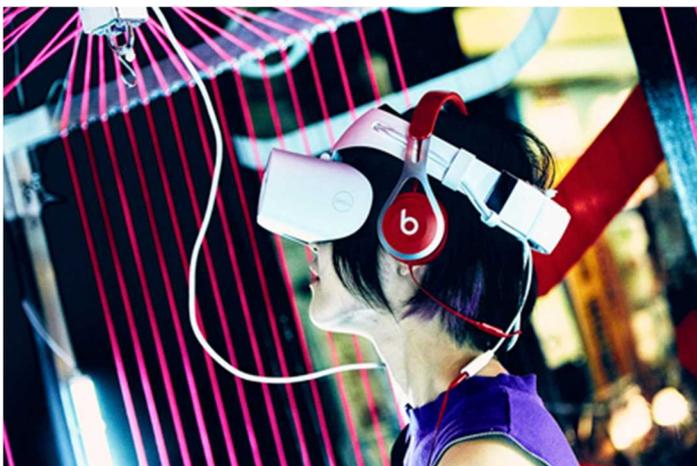
NEWVIEW は、3次元空間での新たなクリエイティブ表現と体験のデザインを開拓する実験的プロジェクト/コミュニティとして2018年1月に始動。

ファッション、音楽、映像、グラフィック、イラストレーションなど、都市空間におけるカルチャーを体現するクリエイターとともに、リアルと空想を越境する次世代のカルチャー/ライフスタイル体験をデザインする実験、国内外でのレクチャーやミートアップを通じて次世代のVRクリエイターの発掘・育成・交流活動を展開しています。



NEWVIEW 作品制作ワークショップ

パルコはリアルでの発信通じて、クリエイターを支援



左：GALLERY X BY PARCO でのVR体験風景 右：Discont氏作品の渋谷PARCO展示イメージ(コラージュ)

パルコは本プロジェクトで発掘されたクリエイションをリアルで発信する場を提供することを通して、クリエイター支援を行っております。

2018年8月には、GALLERY X BY PARCO(東京都渋谷区)にてVR作品の展示「NEWVIEW EXHIBITION」を開催。また、11月下旬にグランドオープンを予定する「渋谷 PARCO」では、NEWVIEW AWARD 2018でPARCO賞を受賞したVR空間デザイナーDiscont氏のインスタレーション作品の展示を予定し、現在制作を進行しています。

ファッション/カルチャー/アート分野の VR コンテンツアワードとして初開催した昨年の「NEWVIEW AWARDS 2018」は、世界 7 ヶ国 219 作品ものエントリーとなる盛況となりました。グランプリとなる Gold Prize は、バーチャル美術家えもこ氏の「EMOCO'S FIRST PRIVATE EXHIBITION」が受賞しました。

■ Gold Prize



EMOCO'S FIRST PRIVATE EXHIBITION

作者：えもこ（バーチャル YouTuber /バーチャル美術家 | 日本）

バーチャル YouTuber のえもこの VR アートとその描画工程の映像を鑑賞できる「バーチャル個展」。

* 作品紹介ページ：<https://newview.design/emocos-first-private-exhibition-jp>

■ Silver Prize



左)EMMA VR: PAINTING LIFE

作者：Wyatt Roy（コマーシャル映像作家、VR アーティスト | アメリカ）

芸術作品の背景にいるアーティストを実感し、絵画の背景にあるストーリーを知る機会を提供する作品。

* 作品紹介ページ：<https://newview.design/emma-vr-jp>

中央)IMMERSIVE PHOTO EXHIBITION "美少女は目で殺す"

作者：chiepomme & Albina Albina & APOLIA（アートユニット | 日本）

小さな世界で紡がれる、少女たちの物語を Photogrammetry を用いたプロップ、Mirage Camera を用いた 180° 立体視写真で表現した作品。

* 作品紹介ページ：<https://newview.design/immersive-photo-exhibition-jp>

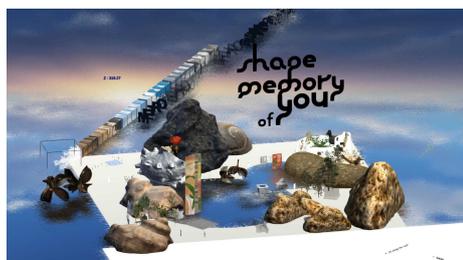
右)MAILLOTS DE BAIN

作者：Mask du Video（映像作家 | 日本）

ゾートロープをモチーフに、現実社会と同じようにフロントエンドとバックエンドの役割が相互にリンクして一つの世界が組み上がっている様子を表現。

* 作品紹介ページ：<https://newview.design/maillots-de-bain-jp>

■ PARCO Prize



作品名：身体の形状記憶装置 -SHAPE MEMORY OF YOU-

作者：Discont（VR 空間デザイナー | 日本）

VR の中で喪失してしまった身体と身体感覚を取り戻すことを目指した実験的な試み。身体の実在感を想起させ、身体感覚を揺らがす 7 つのインスタレーションを用意。

作品紹介ページ：<https://newview.design/shape-memory-of-you-jp>

お問い合わせ

NEWVIEW について：NEWVIEW AWARDS 2018 事務局（担当 原、尾方） info@newview.design

パルコについて：株式会社パルコ 広報・IR 担当（担当：吉田） 03-3477-5710

プレスリリースやロゴなどが入った、プレスキットは以下よりダウンロードください。<http://bit.ly/2Fiv9dy>